

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第84回放送の概要 (2014年8月23日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なか (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

かりん (妹尾優香)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 尼崎で配電用部品を製造している、「オーテック」という会社ですが、そのかたわら、2種類の米焼酎、「ダンディーズスマイル」と「親父のほほえみ」を販売しています。水割りでおいしく、お米のまろやかさを感じられる米焼酎です。身体を酸化させる原因となる活性酸素を、減少させ、老化予防、美容に有効な「水素水」の販売も行っています。

本日は、尼崎市のオーテック様 (電話06-6489-1314) の御協力を頂きました。

(CM) Q: 網膜色素変性症ってなんなんですか? A: 家の中でも会社でもごみ箱を蹴っ飛ばします。足元が見えにくくなるんです。

Q: 網膜色素変性症ってなんなんですか? 電柱を思わずハグしたことありませんか。 A: 視野が狭くなり両横も見えなくなります。

Q: 網膜色素変性症ってなんなんですか? A: 暗い所でものが見えにくくなります。つまり夜盲、暗い所でものが見えにくくなります。網膜色素変性症を知るために9月21日世界網膜の日に、神戸ポートピアホテルにぜひおいでください。

1. ゲストコーナー(1): YWCA日本語講師 柏原かおりさん (72 陽会)

兵庫高校では、男子ハンドボール部のマネージャーをしていた。ハンドボール部は柏原さんの3~4年上の代は近畿大会、国体に出場していた。柏原さんの代も国体選手がいた。その後10年間程休部していたが3年前に復活し、3人で始めた。初めは部室がなく、ゴールがなく、グラウンドの整備をやり、その努力で部員が増え、同好会から再開し、部に認められた。今は10人程の部員になった。OB会は昨年復活し、OBと現役の対抗戦をしているがまだOBの方が強い。OBチームのキャプテンは72陽会で、後輩たちと外部のハンドをやりたい人で構成している。近くで見ると非常に面白いスポーツです。

校門前のさいみょうじという駄菓子屋に行くのが楽しく、毎日放課後、休み時間は通っていた。北区に住んでいたのが駄菓子屋がなく、高校生になって駄菓子屋デビューした。お菓子や味をミックスしてもらえるジュースを買いに走っていた。すぐ近くの貸本屋にも毎日入り浸っていた。大学は甲南女子大を卒業後、神戸の企業に就職、職場結婚の相手がイギリスの大学院に行くことになり、2年間イギリスに滞在後、仕事でアメリカに4年間赴任した。子供は生まれてすぐに海外生活になり、小学校入学時に帰国した。

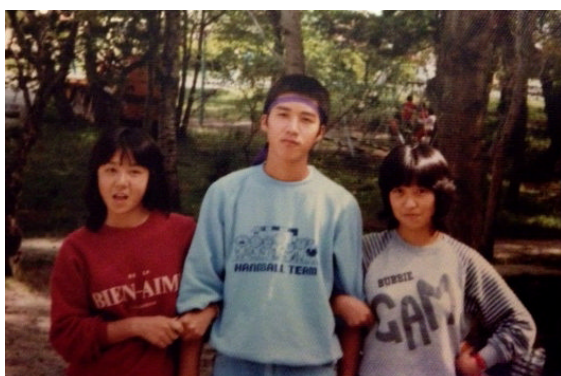
帰国したが子供は日本語が分からなかった。海外では日本語は使っていたが関西弁はわからなかった。学校では日本人にはサポーター（授業通訳）は付かないので、YWCA の帰国子女クラス（英語）に通っていた時、日本語教師養成講座が目にとまり、勉強すれば子供の質問に答えられると思い受講した。子供が入学式で「名札」「椅子を引いてください」「前にならえ」など、全く分からず固まっていた。海外生活で聞いた事がない言葉は全くわからなかった。学校では外国人が来たと言われていた。



ハンドボール部 72 陽会（1985 年）



卒業式（1985 年）吉井先生、柏原



野外活動 柏原、猿丸、山根



英国 カーディフにて 息子と

2. ミュージック：じろはったん（作詞 森はな、作曲・歌 坂牛八州）

児童文学者、森はなさんの作品「じろはったん」に共感した坂牛八州さんが作曲し、歌っています。兵庫高校で我々と同級生であった坂牛さんは、加古川の聖パウロ生石（おうこし）保育園の園長をされていました。3 年前の 4 月、ゆうかりに乾杯のゲスト出演の 1 週間前に脳溢血で倒れ、8 カ月後に亡くられました。先月同期の者で保育園を訪問した時にご家族より CD を頂きました。

3. ゲストコーナ（2）

日本語教師養成コースの授業内容は、はじめに日本語の文法を、外国人が理解しやすい用語を使って勉強する。未然形、連用形などはむずかしいので、簡単に、「ない」形（例：食べない、行かない）、「辞書」形（例：「食べる」は辞書に掲載）などを使い、活用についても 5 段活用や下 1 段活用は難しいので教えない。実習もあり、生徒は各国の人がいるので、日本語を使って日本語を教えている。生徒の日本語レベルはクラスごとに分かれているので、クラス内ではあまりレベル差はない。YWCA の実習まで受講すると、どこでも通用するレベルに到達する。柏原さんは、教師養成コースが終了すると民間資格を取得（日本語教育能力検定試験）し、YWCA の日本語講師、他を行っている。

最近教えた生徒は、親と一緒に日本に来た子供達（主に中学生）で、学校の勉強に役立つ日本語をサポートしている。学校では友達や先生と何も喋れていないので、沢山話をしてもらうために 1 クラスは

15 人程度までに行っている。授業内容は、学校で国語の教科書をもて初めは理解できないので、学校の授業に繋げていけるように教えている。クラス内には生徒の学年は色々あるので、そのことも考えながら教えている。生徒に教える教科書は、YWCA オリジナルのものから子供用に編集したものを使用している。

外国人が苦労する日本語は助詞、例えば「パンを食べます」「教室で食べます」「レストランで食べます」「友達と食べます」を教えていくが、「友達とパンを食べます」というところを、わけがわからなくなり、「友達を食べます」と言ったりする。そのため外国人なまりと言われる「パン食べる」など助詞を省略する言い方になる。助詞の使い方が教える重要ポイントになる。YWCA で特に力を入れている対象者は、日本で生活し職を探している人で、就職支援コースが始まっている。助詞の使い方など丁寧な話し方を教えている。日本語を教える場合、くだけた言い方が身につくと、丁寧な話し方は覚えるのが難しいので、初期段階から丁寧に話す事を教えている。企業側は日本語能力試験の資格を持っているかどうかより、きちんとした日本語が話せる、ビジネスマナー、日本の理解などが重要と言っている。

日本語を教えていて感じる文化の違いは、教師として当初失敗した事は、相手の文化を知らず嫌な事をしたことである。左手と右手で宗教的に意味が違う場合、左手で物を手渡した時、不浄な手を使ったとか、「脱ぎます」という言葉を教える時に、靴を脱いで手に持った時、侮辱されたと言われたなどがある。日常生活に関しては、生徒が毎日「こんにちはお元気ですか」と言ってくる。これは「How are you」の直訳からきているようだ。日本語と外国語で一番大きな違いは、日本語は文末にならないと意図がわからない事。学校では生徒を連れて遠足に行く事があるが、並んで歩いたりする集団行動が難しい国がある。敬虔な仏教徒は足や手を清めないとお寺に入らないことがある。皆でバーベキューをしようと思っても、ラマダンの時期は出来ないし、食べられない物がある。



就職支援コースの修了式（2013 年度）

日本語講師の仕事は気を使うし、大変難しいが楽しい事が沢山ある。知らない事を沢山教えてもらう事が多い。また生徒の反応が素直で教えやすい。日本人に教える機会があるが、顔の表情がわからず、わかったのかわからないのか、難しいのかやさしいのかわからない。外国人の生徒は、お元気ですかの後に、おきれいですね、今日の服は素敵ですと言って先生を褒める。クラスが終わった後も、何かあれば相談に来るよう話している。

4. こぼれた話、こぼれなかった話：近づいた県内公立高校の学区再編

(1) 県内の普通科の公立高校の学区統合・再編が本番になってきました。平成26年度から実施ですから、今度受験生になる現在中学3年生から入試制度が大きくかわります。学区は現行の16から5になります。

地元の神戸は3つに分かれていた学区が一緒になった上に、芦屋と淡路島が同じ学区になります。※なぜ再編が必要かと言いますと、最近の高校進学率が98%と高止まり、交通網の整備や市町合併などで生活圏が拡大したこと、また小子化で中卒者が20年前の約半分に減り、さらに10年後には半数を割り込む見込み。そこで少数化貴重な生徒たちが、個性や関心に応じて高校を選べるよう、その選択肢を拡げる意味合いもあります。

(2) 再編統合で心配または期待されていたのが、

①遠距離通学の負担が大きくなる。

- ②人気のある都市部の学校に生徒が集中して、学校の序列化や、過疎地の学校は志願者が減少して統廃合につながる。
- ③宅近くの学校や、選択肢が増えて学力に合った高が選べる。また、生徒の学力レベルが揃うので、授業が効率的になり、しかも生徒たちが刺激しあってマインドが高くなる。ということです。
- (4) 実際にいま取沙汰されている問題点は、
- ①地域の特例
隣接区域の高校（新学区の他学区）にも出願できます。例えば、神戸市北区居住の生徒は西宮市、三田市、三木市に、神戸市西区居住では明石市、三木市。逆に、三田市居住や西宮市居住は神戸市北区へ、明石市居住では神戸市西区や淡路市へ、三木市居住は神戸市の北区や西区へと。
 - ②複数志願選抜の活用
一般入試で、普通科と総合学科から2校志願できます。合否判定は調査書と学力検査の計500点満点で判定されますが、第1志望には神戸などの学区では25点が加算されます。第2志望には加算はありません。
ですから、第2志望にも合格しないと、公立高校への進学はできなくなります。それだけに、第1志望の選択により重要な意味が発生してきます。
 - ③志望校選択、進路指導
中学側にとって受験実績のない高校が対象となるので、進路指導が手探り状態。中学校の間で合格ラインデータの共有化の動きもあるが、学力差が明確になり序列化される懸念。一部に、業者テストの活用や、財団法人の学習到達度テスト利用への動きも見える。塾主導の偏差値での序列化に警戒感が残る。
 - ④公立高校では、自校の魅力を受験生にアピールする見学会「オープンハイスクール」の日を夏休みに集中して多く開催している。
 - ⑤中学側の進路指導が見通せないのも、また人気高校の競争率がアップするので、滑り止めの私学受験も増える。中高一貫教育の私学サイドでも、高校編入を増やそうとしている。
 - ⑥教育委員会の調査でも、前の限定された学区内から新たに学区に組み入れられた高校を受験したいとする生徒は、約10%。東西交通機関が発達している神戸旧市街地では、通学可能な高校が増えることになるが、結局のところ、自宅からの通学利便性が判断要素の一番になりそうな見込みです。通学時間の無駄や部活動、塾通学などもありますから。
 - ⑦人気が集中する高校はいいとしても、人気、不人気による格差拡大の問題が起きて、高校の序列化や定員割れで統廃合へつながるのではと不安視されています。
続きは、また来月以降に、状況がもっと明らかになってきたことをお知らせします。

5. 地域瓦版

不発弾の処理作業に伴う交通規制があります。中央卸売市場横の中の島で見つかった不発弾処理の撤去作業を行います。8月24日8時30分～13時頃まで、半径200m以内を立ち入り禁止区域となります。周辺道路の交通規制を行います。

8月23、24日メリケンパークで、神戸港夏物語2014、神戸ミュージック&グルメポートが開催されます。

8月23、24日、日没から21時まで、相楽園で庭の灯り2014が開催されます。ジャワの影絵芝居が18時半から行われます。

6. 来週のゲスト

来週のゲストは、たかとりコミュニティセンターの「アジア女性自立プロジェクト」の有吉真紀さんにお越し頂きます。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>